



不安を軽減、除去することで病気をなくすアイデアを発表する飛知和さん

# 不安軽減、病気がなくす

## 鳥大・飛知和さん発表

東京でアイノコ  
データ

大学生と大学院生を対象とした「病のない未来」アイデアコンテスト(東京大COIなど主催)が9月27日、東京都内で開かれた。鳥取大医学部4年の飛知和弦輝さん(22)が出場し、不安の軽減、除去で病気をなくしていく構想を発表した。飛知和さんは「現代社会には不安の原因がたくさんあり、それらが心身の異常

となつて内臓疾患や精神神経疾患、自殺を招くことにつながっている」と指摘。不安を軽減、除去するため「遺伝的要素の研究や医工連携によるビッグデータの活用などで不安の早期発見、副作用の少ない抗不安薬の開発ができれば」とのアイデアを披露した。惜しくも入賞は逃したが「ほかの出場者の発表を聞

いてとても刺激になった」と話し、自身の研究成果を地域に還元することに意欲を示した。

同コンテストは将来の研究者やイノベーターの支援・奨励を目的に開催。全国から応募のあった24組のうち飛知和さんら10組が本選に出場。ノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅良典

氏らが審査員を務めた。

(中村宏)